

令和7年度 第4号 令和7年7月11日



阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から つながりと挑戦の1学期、自分らしく伸びる夏へ

校 長 桑原健太郎

新年度が始まり、気持ちも新たにスタートした4月から、早くも3か月が経ちました。この間、生徒たちは日々の授業や行事、部活動など、さまざまな経験を通して多くのことを学び、確かな成長を遂げています。

地区総合体育大会では、仲間と励まし合いながら最後まで全力を尽くす姿が印象的でした。試合を終えた3年生が、審判の役割をしっかりと果たし、「ありがとうございました」と悔しさをにじませながらも感謝を伝えてくれた姿には、責任感や礼儀、周囲への感謝の気持ちといった、人間的な成長が感じられました。精一杯取り組んだ経験を通して、「勝敗を超えた大切な価値」——つまり、周囲と支え合いながら目標に向かう姿勢や、感謝の心をもって行動する姿勢——を身につけたのだと思います。

また、市英語暗唱大会では、出場した生徒たちが緊張の中でも堂々と発表し、日頃の努力の成果をしっかりと表現してくれました。鶴翔高校を訪問させていただいた際には、専門性の高い授業を体験させていただき、普段との違いに刺激を受けながら、楽しそうに、そして意欲的に学ぶ姿勢が見られました。高校の先生方からも「素直で意欲的だった」と評価していただき、自分の進路について具体的に考える良いきっかけになったことと思います。

さらに、2・3年生は職場体験学習を通じて実社会に触れ、働くことの意義や責任の重さ、そしてやりがいや誇りを実感しました。学校では得がたい体験を通して、自分の将来について深く考える貴重な学びとなりました。

日々の生活の中でも、朝のランニングやボランティア活動に積極的に参加する生徒もみられます。また、昼休みには、2学期の体育大会に向けてソーラン節の練習が始まっており、卒業生や生徒会役員が下級生に丁寧に指導してくれています。学年を越えたつながりは鶴川内中学校の特徴の一つであり、今後、その団結力がかけがえのない絆へと深まっていくことを期待しています。

さて、もうすぐ夏休みが始まります。生活リズムを整え、健康と安全に十分注意しながら、充実した日々を過ごしてほしいと思います。自由な時間が多いからこそ、「目標をもって過ごすこと」が大切です。苦手な分野の克服、部活動、読書、家庭の手伝いなど、自分を高めるためにできることはたくさんあります。自分で立てた目標に向かってコツコツ取り組む中で、「できた!」という達成感を実感できるような夏休みにしてほしいと思います。

一方で、暑さが厳しい時期でもあります。心と体の健康を保つためには、しっかりと体を休めることも大切です。頑張る時間と休む時間のバランスを上手にとりながら、日々を充実して過ごせるよう、ご家庭でも見守っていただければと思います。この夏を、自分自身を見つめ直す良い機会とし、生徒全員が元氣な姿で新学期を迎えられることを楽しみにしています。

主な行事予定

月	日	曜	7月～9月の主な行事
7	12	土	おはら節・ハンヤ踊り学習
	14	月	かごしまジュニア検定1・2年 2年がん教育
	16	水	スクールカウンセラー来校
	18	金	終業式 美化作業
	23	水	三者面談(～24日)
8	26	土	みどこい祭り
	1	金	出校日 PTA 役員会
	11	月	リフレッシュウィーク(～17)
	13	水	閉庁日(～15)
	21	木	出校日
9	24	日	PTA奉仕作業
	1	月	始業式 身体測定
	2	火	実力テスト(～3)
	8	月	学校運営協議会
	10	水	体育大会予行練習
	13	土	第79回体育大会
	26	金	特別支援学級交流会

7月21日から8月31日は、水難事故防止運動協調期間です。

他県では、すでに水の事故が起きています。水難事故防止に努めましょう。

また、気温の高い日が続きます。熱中症予防として、こまめな水分補給と適切な休憩を心がけましょう。

努力目標

夏休みの学習と生活設計を立てよう。

一事徹底

スコラ手帳を活用し、生活のリズムを整えよう。

健康教室

5月30日 心肺蘇生法教室
～自分の手で命を救うために～

本年度も、阿久根消防署の協力を得て心肺蘇生法講習会を保護者も参加して行いました。

消防署員の説明や実演を参考に心臓マッサージを行いました。力強く押さなければならなかったため、思っていたより大変だったようです。

その後、AEDの使用方法も学び、「使う機会があったら、そのときはこの経験を生かしたい」と感想を述べていた生徒もいました。

また、消防署員から、職員はより丁寧に学んだ方がよいとの助言があり、別室を設けて生徒や保護者とは別に指導をしていただきました。



避難訓練

6月16日 不審者対応訓練
～自分の命は自分で守る～

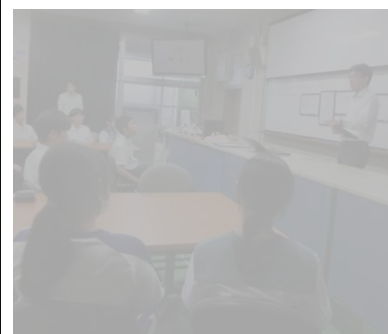
本年度は、不審者が生徒玄関から1年教室へ侵入するという想定で対応訓練を行いました。

今回は、不審者役の警察官が、どなり、刃物を出したりして近づいてくるのではなく、スマホで撮影をしながら侵入してきたので、思ったより落ち着いて避難できていました。

職員は、終了後に警察の方から対応について助言をいただきました。

生徒は、避難後に、「学校や学校外で不審者に遭遇したときにどう対応するか」についてグループごとに考え、意見を共有しました。

まずは、自分の命を守る行動ができるように、今回の訓練を生かしていきましょう。



高校訪問

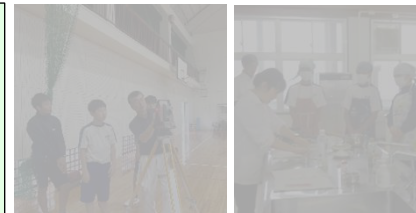
6月24日 鶴翔高等学校訪問
～百聞は一見にしかず～

小雨の中、市バスを利用して鶴翔高校へ行きました。

学校の説明のあと、中学生向けに2コマの授業を体験させていただきました。

学校に帰ってきて、ポップコーンを作ったことや甘いミニトマトを食べたこと、測量に挑戦したことなど、いろいろな感想を述べていました。

この高校訪問が、それぞれのキャリアを考えるよいきっかけになることを期待します。



授業参観・学級PTA

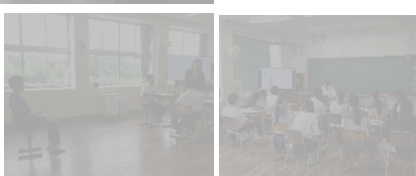
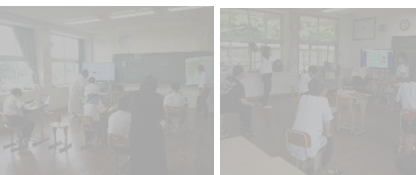
6月27日 授業参観・学級PTA
～子供たちの学校での様子から～

1年生は社会、2年生は国語、3年生が学級活動の授業を見ていただきました。

特に、3年生では授業参観ではありませんでしたが、保護者も共に授業に参加していただきました。

その後、学級PTAで1学期の生徒の様子や夏休みに向けた内容などについて話し合いました。

多用な中、出席していただきありがとうございました。



来週末から40日余りの長い夏休みが始まります。

子供たちは、夏休みをどのように過ごすのか、子供たちなりに計画を立てているころだと思います。家で過ごす時間が長くなる分、保護者との関わりも増えていくことでしょう。

さて、保護者のライフスタイルが、子供の生活や意識に大きな影響を与えていることは言うまでもありません。特に、子供は、保護者の言動から、自分の人生の指針を見取っています。「子供と対話できているでしょうか」「子供の見本となる言動がとれているでしょうか」。

夏休みは、子供を見直す、そして子供との関係を振り返るよい機会です。親子のふれあいを深める機会をつくり、今まで以上に保護者の出番を意図的、計画的に増やしてみてもはいかがでしょうか。